

神奈川県

神奈川県連合退職校長会

結成 昭和40年7月10日

10年間における主な取り組み

- ① 平成28年度より2年間、これからの県連退の在り方を見直す。
 - 「県連退運営検討委員会」により、規約の一部改正並びに細則の一部、理事・常任理事の構成人数の適正化、常任理事会各部署の事業内容を見直す。
- ② 令和元年10月 「第48回 関東甲信越地区退職校長会連絡協議会 神奈川大会」が開催される。
 - 1都9県、代表者による第48回関東甲信越地区退職校長会連絡協議会神奈川大会が開催された。参加者67名（1都9県）
 - ・開催日時 令和元年10月17日（木）～18日（金）
 - ・会場 川崎日航ホテル
 - ・協議題 存在感のある「退職校長会」を目指して
～魅力ある事業活動の展開及び会員相互の交流連携をどうするか～
- ③ 「教育の日」制定の要請に伴い、神奈川県教育委員会は「かながわ教育月間」としての要綱を策定する。
 - かながわの人づくり、かながわの教育を一層推進するため、平成28年「かながわ教育月間」を定めることとなった。
 - ・長い間コロナ禍で開催できなかった県講演会が、令和4年より、「かながわ教育月間参加」として開催されることになり、広く県民にも参加を呼びかけた。
 - ・さらに県の講演会だけではなく、地区の講演会も「かながわ教育月間参加」として開催され、市民にも参加を呼びかけた。
- ④ 定年制延長に伴う会員数並びに会費の減少に対応するため、会計のあり方、各地区での対応策を調査し、結果をまとめ共通理解を図った。
 - 令和4年度、事業活動の会計執行の見直しを図る。
 - 令和4年度より、地区ごとの取り組みや対応策をアンケート調査し、県連退全体で情報を共有した。
 - ・入会率を高め、途中退会者や未納者をなくすための方策。
 - ・帰属意識を高め、生きがいを感じられる事業の工夫。
 - ・デジタル化への対応。
 - ・会員数の減少と年会費の関わり。

